令 02 原機(敦廃) 007 令和 3 年 1 月 18 日

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1 申 請 者 名 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 代表者の氏名 理事長 児玉 敏雄 (公印省略)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉施設 廃止措置計画変更認可申請書の一部補正について

令和2年5月22日付け令02原機(敦廃)001をもって変更認可を申請した新型 転換炉原型炉施設の廃止措置計画を添付のとおり一部補正いたします。

1. 補正内容

令和2年5月22日付け令02原機(敦廃)001をもって変更認可を申請した新型 転換炉原型炉施設の廃止措置計画に関し、別紙のとおり補正する。

2. 補正理由

(1) 本文 6「廃止措置期間中に性能を維持すべき発電用原子炉施設」の「表 6-1 性能維持施設」の記載について誤記を訂正するとともに記載の適正化を図る。

以上

新型転換炉原型炉施設 廃止措置計画変更認可申請書 補正前後比較表

						補正	三前													補正	三後							備	考
	赤	1	1	1		ı	ı	1	1		ı			ž.	1]		
	理後の解 可能時期 	上海	k 拗 開	K期間	2. 按图	5、体角4体	5 体解体	2 神間	5.体解体	3.22 設備 5.期間	5体解体	5体解体		[後の解 能時期	朔開	·	明問			体解体	体解体)	本解体	辺設備期間	本解体	本解体.	_		
	維持管 体着手 の解 建屋解体	の解 建屋解体	の解離医解体	の解建屋解体	の解 建屋解体:	へい 原子炉本(で 搬去期間	へい 原子炉本(で 撤去期間	の解 き解 建屋解体	料貯 原子炉本体解体 まで 撤去期間	料貯 原子炉周辺設備 まで 解体撤去期間	料時 原子炉本了ま 撤去期間	料貯 原子炉本(まで 撤去期間		維持管理体養手可	9解 建屋解体	9解 建屋解体)解 建屋解体)解 建屋解体)解 建屋解体) 原子炉本 撤去期間	い、原子炉本体解(撤去期間)解 解 建屋解体 ³	貯 原子炉本体解体 で 撤去期間	貯 原子炉周 で 解体撤去	時 東子炉本 版去期間	時 原子炉本(で 撤去期間			
	維持すべき期間 当該建屋内の管理区域 除完了まで) 当該建屋内の管理区域 除完了まで	当該建屋内の管理区域 除完了まで	当該建屋内の管理区域 除完了まで	原子存領域及び生体鑑へ 体解体搬去工事着手まで)	原子炉領域及び生体遮〜v 体解体撤去工事着手まで	原子存建屋の管理区域の解)除完了まで(原子炉建屋解 体に準ずる)	取扱対象物の使用済燃料貯 蔵プールへの移送完了まで	取扱対象物の使用済燃料貯 蔵プールへの移送完了まで	取扱対象物の使用済然料が 験ノーンからの験出売了ま た	取扱対象物の使用済燃料貯 臓プールへの移送完了まで		維持すべき期間	当該建屋内の管理区域の 除完了まで	当該建屋内の管理区域の 除完了まで	当該建屋内の管理区域の 除完了まで	当該建屋内の管理区域の 除完了まで	当該建屋内の管理区域の 除完了まで	原子炉領域及び生体進へレ 体解体撤去工事着手まで	原子炉領域及び生体遮へい 体解体撤去工事着手まで	原子炉建屋の管理区域の解除完了まで(原子炉建屋解体に準ずる)	取扱対象物の使用済燃料貯 蔵プールへの移送完了まで	取扱対象物の使用済燃料 蔵プールへの移送完了ま	取扱対象物の使用済燃料貯 職プールからの機出完了ま た	取扱対象物の使用済燃料貯 蔵プールへの移送売了まで			
	4 年	質が満次いずるよ	単に質量がいない状態であることが分類解音の防止に影響するに対するだけが有質な損傷がない状態であること			・放射線障害の防止に影響するよう か有音か指揮がない、計能できる。	10 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	・放射性物質が漏えいするような有意な損傷がない状態であること ・放射線障害の防止に影響するよう な有意な損傷がない状態であるこ	N N		黎圏の運転状態に現体のないと 今日機能 ソーキが日曜に動 作すること 徐寿後が振については、グリッパ 徐寿後が振については、グリッパ 鶴原が東失した場合においても 帝上が任順で機構機能が保持された。			性能		が参社物質が漏えいするような有 第な技術がない状態であること ・・ のように ・ のである。 ・ のでは ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のでする ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 ・ のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。	がない状態であるこ			・放射線障害の防止に影響するよう な有意な損傷がない状態であるこ		・放射性物質が漏えいするような有 意な損傷がない状態であること ・放射線障害の防止に影響するよう な有意な損傷がない状態であるこ と			・装着の運転状態に異常のないたと ・停止機能、クレーキが正常に動 作すると ・終料移送機については、グリッパ 電源が喪失した場合においても 停止した位置で機構終料が保持さ	#302 <i>2</i>			
F施設 (1/11)	機能維持の方法 外観点検(より機能を維持する	外観点後により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	トランスファー装置の動作状態の確認 により機能を維持する	燃料出入機の動作状態の確認により 機能を維持する	では 機能を維持する 機能を維持する	外観点後により機能を維持する	}施設 (1/11)	機能維特の方法	小観点検により機能を維持する	ト観点検により機能を維持する	小観点検により機能を維持する	4観点検により機能を維持する	4観点検により機能を維持する	4観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	小観 点検により機能を維持する	ランスファー装置の動作状態の確認 こより機能を維持する	燃料出入機の動作状態の確認により 機能を維持する	然料移送機の動作状態の確認により 機能を維持する	・観点検にJの機能を維持する			
性能維持施設	要求される機能漏えい防止機能拡散的上機能が下い。	表	漏えい防止機能 拡散防止機能 遮へい機能	漏えい防止機能 拡散防止機能 遮へい機能	漏えい防止機能 拡散防止機能 遮へい機能	郷本ごく網	様~いる機能	漏えい防止機能 遮へい機能	移送機能	移送機能	移送機能	移送機能	性能維持施設	要求される機能	漏えい防止機能 拡散防止機能 適へい機能	涌えいが止機能 拡骨防止機能 遮~い機能		漏えい防止機能 拡散防止機能 遮へい機能	漏えい防止機能 拡散防止機能 遮へい機能	連っる機能	湯を予め	漏えい防止機能 遮へい機能	移送機能	移送機能	然	移送機能			
表 6-1	設備,維持台数,位置,構造等地下2路,地上5路 铁符コマツート基 鉄将コマツート基	・主要・技化(4種): #933m 地下2階: #4 2.5階 教術コングリート語 所写が対し上型 所要が対して 概念が表記。 魔祭物を組織、長さ約5m。 魔祭物を組織、長さ約5m。 概念が表記。	電気・物検性主に発酵を手が、 電気・1 調合・約33.5m 地下2階・地上1階 鉄筋コンクリート語 ・土栗 寸光・長を絡をm.	地下2階・地下2階 鉄筋コングリー7造 ・主要寸法: 長を約61m,	地下1階・地上3階 鉄筋コングリート造 主要十茂: 長さ約40m, 高25m, 高2約3m	開部及び上下部艦~い体からなる炭素 鋼製の溶液構造タンク ・位置・原子が電路内 ・種類・盤形円筒形 ・主要・十法・全高6.980m ・主要・十法・全高6.980m	・位置・原子炉建屋内 ・循葉・銀布コンツリート造 ・主要寸法:炉心半径方向で厚さ150mm	- 位置:原子炉建屋 - 種類:鉄筋コンクリート造 - 主要寸法:外径:約40.5m, - 抽 F電約42.2m	トランスファー装置 ・基数:1基 ・位置:原子炉建屋及び ※約中華プーン・雑島内	燃料出入機 ・基数:1基 ・位置:原子炉建屋内 ・種類:屋内クレーン型	燃料移送機 ・基軟:1基 ・位置:燃料貯蔵プール建屋内 ・種類:屋内ケーン型	燃料交換ブール ・最終:1.基 ・位置:(1) で存態医内 ・種類:((4) を持つアクリート構造 ・主要・技:((4) 27 (1) (4) (4) (2) (7. 82 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	表 6-1	設備,維持台数,位置,構造等	地下2階・地上5階 鉄筋コンクリート造 ・主要寸法(内径):約33m	地下2階・地上3階 (14版コンツリート登 ・主戦・大学 原子が高速が3.5m 所名が、高さが3.5m 廃棄がの出端:長本が3.5m 原薬がの出端:長本が3.5m 原文・高さが2.0m 電気・機模型:長本が3.5m 電気・機模型:長本が3.5m 電気・機模型:長本が3.5m	地下2階・地上1階 鉄筋コンクリート造 ・主要寸法: 長さ約84m, 幅32m, 高さ約30.5m	地下2階・地上2階 鉄筋コンクリート造 ・主要寸法: 長さ約61m, 幅18.5m, 高さ約27m	地下1階・地上3階 鉄筋コンクリート造 ・主要寸法: 長さ約40m, 幅25m, 高さ約30m	側部及び上下部達へい体からなる炭素 鋼製の溶漿構造タンク ・位置は子存準量内 ・種類・整外円筒形 ・主要十法:全点6.980mm 最大外径9.450mm	・位置:原子存建屋内 ・種類:鉄筋コンクリート造 ・主要寸法:炉心半径方向で厚さ150cm	・位置:原子存建屋 ・種類:鉄筋コンクリート造 ・主要寸法:外径約40.5m, 地上高約42.2m	トランスファー装置 ・基数:1基 ・位置:原子存建量及び 燃料貯蔵プール建量内	燃料出入機・基数:1基・位置:原子炉建屋内・種類:屋内クレーン型	然本移送機・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	総朴交換ブール ・基数:1基 ・位配 所 子が建設内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	TENCE I I TENCH	・誤記訂正・主要寸法の「:を削除	」及び数値の「()」
	屋)名称	I	ı	I	ı	I	I	I	トランスファー装置	燃料出入機	燃料移送機	燃料交換グール		B) 名称	1	I	-	1	1		I	I	トランスファー装置	然料出入機	然科移送機	燃料交換ブール			
	設備(建原子炉建屋	原子炉補助建屋	ダービン準層	然料貯蔵プール建屋	廃棄物処理建屋	鉄水遮へい体	外周壁(生体遮へい体)	原子炉建屋外壁			然科移送装置			設備(建	原子炉建屋	原子炉補助建屋	タービン建屋	燃料貯蔵プール建屋	養棄物処理建屋	鉄水遮へい体	外周壁(生体遮へい体)	原子炉建屋外壁			燃料移送装置				
	設備等の区分		その他の主要な構造				放射線進入で体				核燃料物質取扱設備			設備等の区分	7	との他の主要な構造	**	**	T.	765	放射総進へい体。) T			核燃料物質取扱設備 1				
	施設区分		原子炉施設の一般構造				原子炉本体				核燃料物質の取 极縮設及び貯藏 施設			施設区分		原子好館設の一 7	权 (再)运				原子炉本体				核燃料物質の取 极施設及び貯蔵 施設				

					補	正前									補」	正後					備考
	án.		- 第二 - ディン - ディン - ディー - ディ - ディー - ディ - ディ - ディ - ディ - ディ - ディ - ディ - ディ	2. 紫の 紫村 5. 藤子 5. 『 『 子 5. 『 『 子 5. 『 『 子 5. 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 』 『 『 』 』 『 』 『 』 『 』 『 』 』 『 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 』 『 』 』 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 』 』 『 』 』 』 』 』 『 』	-	加用 (May And		郷間 然が (編が (報か がない)					田磯田	高級を を出場 衛士心		機能 機能を		期間 機能が がなって こことに			
100	(編)	I	夜田瓷器** 池丁以露。 1.9岁射出	100次対1年80米78 在使用済然料時報 ブールに保管する 計画である。		維持すべき期間 は、使用済燃料貯 蔵ブール水温が 52℃を越えないこ とを確認したことに よる。		維持すべき期間 は、使用済然料所 酸プール水温が 52℃を越えない、 とを確認したことに よる。	1 1		部		を 田田 ← を を を を を を を を を を を を を	75 - 75 - 75 - 75 - 75 - 75 - 75 - 75 -		維持ナスき期間 は、使用済燃料度 酸ブール水温が 52℃を越えないて とを確認したことに たる。	l	維持する専期 は、他用済燃料は 職プーレ水温が 52℃を観えない とを確認したいと、 よる。		I	
維持管理後の解	体着手可能時期 原子炉本体解体 始土地門	歌玄朔司 原子炉本体解体 撤去期間	用工行水 化配水	旅士岁本中群体撤去期間		原子炉本体解体	後去期間 (大)	原子炉周辺設備解体撤去期間	陸屋解体期間 建屋解体期間		維持管理後の解 体着手可能時期 原子炉本体解体 樹去期間	P #4		原子炉本体解体撤去期間		原子衍本体经体	撤去期間	原子炉周辺影備解体撤去期間	建屋解体期間	建屋解体期間	
40 etc.4 4-410	雑Pサイや型用 使用液燃料の施設外への機 コーナ・4	ロ元」まで 燃料貯蔵プール建屋の汚染 の除去工事着手前まで	※ 登場の使用が登録を	瀬ブールからの敷出犯「まな		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	使用済燃料の施設外への機出完了まで	ブール木冷却浄化系の後備 冷却機能が不要どなるまで	主事気能に接続されている 素気配偏解体能を上すっている まで 廃棄物処理進程維減能に終 続されている場合配金 整されている場合配体		維持すべき期間使用済然やの施設外への機工等ですが	燃料守蔵プール建屋の汚染 の除去工事着手前まで		貯蔵対象物の使用済燃料貯蔵ノールからの搬出売了まで		重水系・ヘリケム系等の汚染 の除去期間	使用済燃料の施設外への機 出完了まで	ゲール 水冷 料浄化系の後備 冷却機能が不要となるまで	主排気筒に接続されている 換気設備解体撤去工事完了 まで	廃棄物処理建屋排気筒に接 続されている換気設備解体 撤去工事完了まで	
景 (2/11)	性 能・ ・著しい漏洩又はその形跡がなく、 亀裂、変形等有意な欠陥がない状	であること 英置の運転; 学止機能,フ すること	- 正理学年十一部郷ケホシス第一:	・打磨器ノニが響か中々ら金刀と後掛、着し、変形がだってと			・ブール水冷却循環ボンブ出口流 量が基準値を消む、受定しており、 各部の運転状態に異常がたいこと		・評気ロの機能や描たらだが発 数。 疫形等有能な大幅がないいど		性能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			・貯蔵能力に影響を与える著しい 破損、著しい変形がないこと			・ブール水冷却循環ボンブ出口流 最が基準能を満足し交近しており。 各部の運転状態に異常がないこと		一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	・併気口の機能で倒ならび痛 製、変形等有意な欠陥がないこと	
-1 性能維持施設	機能維持の方法 外観点検により機能を維持する	クレーンの動作状態の確認により機能 を維持する	外観点後により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検にどり機能を維持する	系統の運転状態の確認により機能を維 均寸る	系統の運転状態の確認により機能を維 持する	発の運転状態の確認により機能を維 中子る	外観点後により機能を維持する外観点後により機能を維持する	性能維持施設 (2/11)	機能維持の方法 外観点検により機能を維持する	クレーンの動作状態の確認により機能 を維持する	外観点後により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	系統の運転状態の確認により機能を維 持する	系統の運転状態の確認により機能を維 持する	系統の運転状態の確認により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	
	要求される機能拡散的に機能	吊上げ・運搬機能	牙滅 機能	未臨界維持機能	高し、機能	除熱機能 ^{等()}	浄化機能 ^{物2)}	除熟機能	放出低減機能		要求される機能拡散的止機能	吊上げ・運搬機能	貯蔵機能	未臨界維持機能	満入で機能	除熱機能等))	浄化機能**2	所數中級而	放出低減機能	放出低減機能	
1 7	財價, 維持台黎, 位置, 精通等华华文少弦淨富, 体配, 体配, 被害妇妻一, 是每日	** <u>いに</u> ************************************	後用済務科的環プール ・ 位置: 総裁: 1基 ・ 位置: 総裁: 14 ・ 主要: 寸注: (報9,000mm 利1,300mm, 深ま12,400mm ド級ラック で、総裁: 14 ・ 正数・1点: (報6,600mm, ・ 正数・1点: (程6,600mm, ・ 正数・1元: (程6,600mm, ・ 1型。 寸元: (4,600mm,	 (位置: 松幸村 菓ブール内 <u>・ 藤泰 和 3 素</u> <u> </u>	使用済燃料的菓ブール ・佐置・燃料的菓ブール建屋内 ・主要・寸法:縦9,000m, 横11,300mm,深を12,400mm	編集は、大 ^{48,1} ^{49,2} ・ 古教 1台 ・ 古教 1台 ・ 一 作 第一 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3	・位置・原子が補助建盟内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 台黎山本中 · 台黎山中 · 位置·原子伊州即建區內 · 位置·原子伊州即建區內 · 安康·斯坦 (國 · 夏 · 夏 · 夏 · 夏 · 夏 · 夏 · 夏 · 夏 · 夏 ·	編集: 48年7年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年20年	表 6-1	設備、維持台数、位置、構造等 キャスク洗浄塩 ・台層・米料に離プール雑誌内	キャスク取扱クレーン ・基数:1 基 ・位置: 燃料貯蔵プーレ建屋内 ・種類: 国内 天井ケノーン型	(上の本) (上の本	PAC-500mm; PTC-51-500mm PAC-500mm; PTC-51-500mm PAC-51-500mm; PAC-51-500mm 複8.800mm; AC-51-800mm 複8.800mm; AC-51-800mm	使用済燃料的酸ブール ・基数:1.基 ・ <u>で産・窓料的破</u> ブール建量的 ・主要・寸法: 網9,000mm、 増11,300mm,深さ12,400mm	商機が、プ ^{の11} ²⁰ ²⁰ ²⁰ ²⁰ ²⁰ ²⁰ ²⁰ ²⁰	- 編集・機関・2年間 - 1 - 編集・機関・2年間 - 2 - 24	企業株式ボンブ ・台東1台 ・位置に手戸補助建盟内 ・信頼・健康・総式 ・容量:250m/h 熱交換器 ・台数・原子を補助建選内 ・位置・原子を補助建選内 ・循準・構造・信息・	· 容量:1.75×10 ⁶ kcal/h ・基数:1基 ・位置:原子炉中心からほぼ西南西 新23 ⁸ m ・地で一座・また・55 ⁸⁸	·排気口地上高さ:55m ·基数:1基 ·位置:商薬物処理建屋 ·排気口地上高さ:約30m	・記載順の統一及び誤記訂正並び に記載の適正化
75 47),名称	_	一个糖品或类效田期				ブール水冷却浄化系	ı	主排気筒 藤葉物処理建屋排気 筒)名称	I		使用済燃料時職プール			ノーン外信払得占金	I	主排気筒	產棄物処理建屋排気 筒	
##Z / UE -99	施設(雄雄	キャスク取扱装置			使用済燃料貯藏設備			介 熟除去系	排気口		設備(建屋	キャスク取扱装置			使用済燃料時藏設備			余熱除去系		排気口	・誤記訂正
C CO STANT US	設備等の区分	核燃料物質取扱設備			核燃料物質貯藏設備			その他の主要な事項	ダ(休廃薬物の廃棄施 設		設備等の区分	核燃料物質取扱設備			核燃料物質貯藏設備			その他の主要な事項	小木改華地 - 改華地	Xi体险来物の施来地 設	
V CZ1080999	施設区分			核燃料物質の取 极幅設及び貯蔵 施設	₹			原子炉冷却系統設備	放射性廃棄物の廃棄施設		施設区分			核燃料物質の取 极施設及び貯蔵 ^{始配}	施改			原子炉冷却系統施設	が存在を	放射性発素物の 廃棄施設	・誤記訂正

補正前		補正後	備考
Weblics Edition of the Control	東京レン度集タンク 中級表面 上級の表別はその形態がなく 東京レン信用がない 中級表面 上級を表面 上級を表面 上級を表面 上級を表面 上級を表面 上級の表面 上級表面 上級面 上級面	1990 6 (8 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	・誤記訂正

補正前			補正後		備考
**	- 一	*			
維持管理接の解 体筆手可能時期 原子炉本体解体 原子炉周辺設備 解去期間 原子炉周辺設備 解子炉周辺設備 解子炉周辺設備 解子炉周辺設備 原子炉周辺設備 原子炉周辺設備 原子炉周辺設備	原子草本体解体 散去期間 株持管理後の解 体着・可能時期	維持管理後の解 体着手可能時期 原子好本体解体 散去期間	原子炉本体解体 版去期間 解体做去期間 建屋解体期間 原子炉本体解体 脱去期間	原子炉本体解体 撤去期間 原子炉本体解体 搬去期間	
維持十六き期間 再生施液の処理完丁まで 持端 が緩 が が が が	が が が が が が が が が が が が が が	維持すべき期間再生廃液の処理完丁まで	特温度液の処理完丁まで 時間している劣化重水の抜 出し完丁まで 液体格薬物の廃薬設備での 処理完工業物の廃薬設備での 固体廃棄物の施薬設備解及 関体廃棄物の施薬設備解除 数・工事売丁まで	所 指丁まで 着丁まで が 野難している廃棄物の処理 治丁まで	
性能 定	い 強度又はその形態がなく。 5. 販売等件能な大幅がない。 からこと 在 能	性能 後期 住 能	あること 板及ペインターロックが正常に 板及パインターロックが正常に ・変形等有意な欠陥がない状 あること ・変形等有意な欠陥がない状 あること を影響有意な欠陥がない状 あること	・新し、領別又はその形跡がなく、 種類、政形等有質な欠値がない、 概でわること	
6-1 (生育Eが推手力 加設 機能維持の方法 整心 整地 整地 整地 を を を を を を を を を を	# 外観点像により機能を維持する	機能維持の方法 特能を維持する 警報及びインターロックの動作状態の 確認により機能を維持する 系統の運転状態の確認により機能を維持する 外親点検により機能を維持する 解数の動作状態の確認により機能を維 特する 外親点検により機能を維持する 解数の動作状態の機能を維持する	種の動作状態の確認により機能を維持する 観点後により機能を維持する 観点後により機能を維持する 観点後により機能を維持する 観点後により機能を維持する	+観点後により機能を維持する +観点後により機能を維持する +観点後により機能を維持する	
要求される機能 野職機能 湖えい切上機能 別大い切上機能 放出低減機能 放出低減機能 放出低減機能 放出低減機能 所能機能 放出低減機能 原本、切り早期検出 機能		要求される機能 所機能 漏えい切工機能 が出低減機能 所機能能 所機機能 所域機能 がは所述機能 がは所述機能	※	15 蘇機總 15 蘇機總 15 蘇機總 15 新機能	
位置、構造等 ダンク ダルク ダロボ 発信 屋内 タンク アンフ アンコートフィンク 大/アコートフィンク (B) 屋内 屋内 原内 原内 原内 原内 原内 原内 原内 でいる 大/ア でいる ががる の の の の の の の の の の の の の	が表示が、 ・(産:原子等無砂種医内, 廃棄物処 ・(産:原子等等)・(産:原子等等)・(産:原子等等)・(産:原子等等)・(産:原子等等)・(産:原子を)・(産:R)・(R)・(R)・(R)・(R)・(R)・(R)・(R)・(R)・(R)・(設備、維持合数、位置、構造等 基数、2基 基数、2基 電域、整型口削附及シック ・容素・経動等値 ・経域、整型口削附及シック ・容素・低面、22基 ・基数、2基 ・経域、単数用立型大気圧蒸発腫 ・音数、12 ・音数、13 ・音数 13 ・音数 13 ・音	・位置、原子子補助建盟ウリー (金属: 医型口筒開放タンプ - 資金: 20m - 20m	・ 施装(7 種) (1 位) (1 (1 d)) (1	・記載の適正化
各	クス 廃機間 Fi強 グン			2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3 4	
設備(建) 南生廃液処理系 南木ドレン処理系 億水器冷却水放水路 高体状の放射性膨栗的 の潮次、検出紫膜及 使用済イオン交換機脂 呼解炎 [2]	マカンタスランシ中線タン 開発 (株)	於條(建)	洗濯路液処理系 重水ドンン処理系 復水器冷却水放水路 液体状の放射性筋薬物 り溺えい物出装置及び 警報装置	日孫イオン交換時間 行戦タンク インタスラッジ 吟楽か	
で	面存品類的の沿機設 を で で で の に の に の に の に が の に が に が の に が の に が の に が の に の に	設備等の区分	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	面 存み 協議物の	• 誤記訂正
施設区分 放射性酸薬物の 廃棄施設	施設区分	施段区分	済 及幹性商棄物の 廃棄施設	12 P	

補正前	補正後	備考
5 高のの (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		
本本 大 大 大 大 大 大 大 大 大		
作者手面 医医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮肤 医皮	維持衛担務(4) 保養手可能的 原子母本体網 機 表 共期间	
# 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	維持す~各期間 連持す~各期間 丁まで 「大子で 作う解体着手まで を発生の体験を対したる放射性固体 薬型の活散分への機出完了 素型の活散分への機出完了 素型の活散分への機は完了 上手を行いて 原子が補機冷却系の解体能去 工事着手まで (使用済燃料の施設外への機 上手では、 原本工事者子まで を基異及び構築物の汚染の 原本工事者子まで を基異及び構築物の汚染の 原本工事者子まで を登異及び構築物の汚染の 原本工事者子まで を登異及び構築物の汚染の 原本工事者子まで を登異及び構築物の汚染の 原本工事者子まで を登異及び構築物の汚染の 原本工事者子まで を登異及び構築物の 原本工事者子まで を登異なび構築物の を表現を を登録を を登録を を登録を を を を を を を を を を を を を を	・誤記訂正
世子育ビ糸在 14年 が (5/11) は	(5/11) ・運転状態に顕常がないこと ・運転状態に顕常がないこと ・運転状態に顕常がないこと ・整視動作が解解設定値及びその に動作すること ・整視動作が解解設定値及びその の整義間内で発生し、警報が正常 に動作すること ・整視動作が機構設定値及びその の整義間内で発生し、警報が正常 に動作すること ・整視動作が機構設定値及びその の整義間間内で発生し、警報が正常 に動作すること ・整視動作が機構設定値及びその の整義間間内で発生し、警報が正常 に動作すること ・整視動作が機構設定値及びその の整義間間内で発生し、警報が正常 に動作すること ・監視してること ・影視動作が機構設定値及びその の影響を囲門で発生し、警報が正常 に動作すること に動作すること に動作すること に対してること の表現してきない。 を対してること の表現してきない。 を対してること の表現してること の表現してる のまれてる のまれて のまれてる のまれてる のまれてる のまれてる のまれて	・記載の適正化及び誤記訂正
表 6-1 (生自記) 機能維持の方法 機能維持の方法 設備の運転状態の確認により機能を維持する 外観点後により機能を維持する 本観点後により機能を維持する 会様・校正及び警報動作状態の確認 により機能を維持する 点核・校正及び警報動作状態の確認 により機能を維持する 点核・校正及び警報動作状態の確認 により機能を維持する 点核・校正及び警報動作状態の確認 により機能を維持する 点核・校正及び警報動作状態の確認 により機能を維持する 点核・校正により機能を維持する 点核・校正とび警報動作状態の確認 により機能を維持する 点核・校正により機能を維持する 点核・核正対の確認 により機能を維持する 点核・核正対の場影が により機能を維持する 点核・核正対の確認 により機能を維持する 点核・核正対の場影が により機能を維持する 点核・核正対の 点核・核正対の 点核・核性が 点核・核正対の 点核・核性が 上述・核性が 上述・核性が 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能の 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能の 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能を 上述・技能の 上述・技能を 上述・ 上述・ 上述・ 上述・ 上述・ 上述・ 上述・ 上述・	大 14日	
要決立たる機能 所有 可力、 以機能 所有 可力、 以機能 所有 可力、 可力、 可力 可力 可力 可力 可力 可力 可力 可力 可力 可力	表 6-1 / 要求される機能	
股衛、維持合数、位置、極遠等 ・	設備、維持や数、位置、構造等 構図体態を発列機能 を数:3 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 2 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3 ・ 3	
7 名称 一	D名称 一	
設備(建	部価 (建盟 部内 を 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
設備等の区分 の区分 を関うを ので の の の の の の の の の の の の の	設備等の区分 関体務業物の <u>廃棄</u> 股 解 解 解 解 解 を 型用の主要な 設備 配 配 配 に 配 に の に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	・誤記訂正
施設 区分 放射性 藤 原 東	施設区分 放射性廃棄物の 廃棄施設 放射線管理施設	

				裤	非正前	ij										補正	後							備考
表 6-1 性能維持施設 (6/11)	設備,維持合数,位置,構造等 要求される機能 機能維持の方法 性能 維持すべき期間 体着手可能時期 備考	・ ダスキニク・ ・ (本産・1 + 7) ** ・ 薬物がた3条種股で値及びその ・ (事態・指気等モタ・1 を ・ 1) すりよったエク 1 台 ・ (企能・排気等モタ・1 を ・ (企能・排気等モタ・1 を ・ (企能・排気等モタ・1 を ・ (企能・排気等モタ・1 を ・ (企能・排気等モタ・1 を ・ (企能・排気等を ・ (事能・電離着 ・ 計動範囲・3.5.10 ^{2,3.5.1})	展集的処理建設体気筒モニタ ・最額:半導体後出器 ・計量板:10 ~10 s 1 トリテウムモニタ ・最級: 本導体後出器 トリテウムモニタ ・最級: 本導体後出器 ・計型板間: 3.5 x 10 ² ~ 3.5 x 10 ² 8 km 8 k	- 原参社事態の譲収を測定を測定を測定を測定を測定を - 原発機能 - により機能を維持する - 事態設定権において警報が発信 第二字で - 予報度を確認されて警報が発信 第二字で - 予報度を確認されて警報が発信 第二字で - 予報度を属しまいて警報が発信 第二字で	監視機能 点検・校正により機能を維持する ・気象観測データが記録できること 各種最及び構築物の汚染の 原子炉本体解体	- 警権動作順が警報動作状態の確認 - 警権動作順が警報設定値及びそ 各種豊及び構築物の汚染の 原子炉本体解体 により機能を維持する - 衛上動作の発生し、警報が正 除去工事完了まで 常に動作すること	監視機能(発電所用の地域の環境モニグリン使用が かを行えること(1) 数据を維持する(1) を行えること(1) 出発工 (1) は (1) は (・編製に14 ・複数に指摘・指摘・指摘・24機能 ・複数は確定が近に20個に20個に20個に20個に20個に20個に20個に20回に20個に20回に20個に20回に20個に20回に20個に20回に20個に20回に20個に20回に20回に20個に20回に20回に20個に20回に20回に20個に20回に20回に20回に20回に20回に20回に20回に20回に20回に20回	貯蔵機能 ・外観点像により機能を維持する 下まで 不まで 解体散去期間	原子が推発が表現。 ・原子に ・位置・原子が振り建設する ・信置・原子が振り建設する ・信息・原子が振りませる ・信息・原子が振りませる ・信息・原子が振りませる ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振りませる ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振りませる ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子が振ります。 ・信息・原子がありた。 ・作者・対象を示して ・作者・対象を示して ・作者・対象を示して ・作者・対象を示して ・作者・対象を示して ・作者・対象を示して ・経・近・に	8-1 性能維持施設 (6/11)	製備、維持合数、位置、構造等 要求される機能 機能維持の方法 住 能 維持十八き期間 雑行は2014 備考 ダストモニタ			放水槽モニタ ・基数:1台 ・位置:屋外 ・種類:Nal(TI)シンチレー	・計劃範囲:10 ⁻¹ ~10° 5.1 - 近数に1台 - 近数に1台 - 位置:中央制御宣 - 位置:中央制御宣	モーグリングはスト ・最終には ・経験には ・経験には ・経験には ・経験には ・経験によった。 ・経験によった。 ・経験には ・経験に ・経験に ・経験に ・経験に ・経験に ・経験に ・経験に ・経験に	車載が発酵機器において、119.7.1. 車載が発酵を繰ります。 ・発電所用 記載機能 点検・校正にじり機能を維持する ・発電所用 が発行えること 直径56m, 高さ6mの上下部線付き円筒 直径56m, 高さ6mの上下部線付き円筒	型鋼板製・基数、1基数、1基数、1分配。		・基数・2基 ・位置・原子が補助建設内 ・値類・機関で断形 ・ で エッシッサ	(中央)	•	供記訂正
	設備(建屋)名称	F気筒モニタ —	29. 地區縣質商	器冷却水放水路の 備モニタ	**報酬装置/ただし、	モニガリング設備(た 日本原子)発電鉄 社牧貿発電所兼用 2を除く)	能觀測車(無線装)	1		発売機分割をなけて		設備(建屋)名称	主排気備キーク	落藥物処理建康排気筒 モニタ	復本器冷却水放水路の 放水槽モニタ	気象機制設備(ただし, 日本原子力発電株式会 と投資発電所兼用のも の2条除()	固定モニタリング 設備でた だし、日本原子力発電株 式会社教 資発電所兼用 のものを除く)	放射能觀測車(無線装	原子炉格納容器 —	外周コンクリート監	重水貯槽 —	原子炉補機冷却冷ボン	•	誤記訂正及び脱字訂正
	施設区分 設備等の区分	府荘	施事 モー 大学 放射線管理施設 設備 関係	復水放水水	2000年 日本会会 (1900年) 1900年 1900	Market Market	放棄	原子行格納施設 構造 外周 外周	重水系	やの地原子庁の 辞異施設 原子庁補機冷却系 原子		施設区分 設備等の区分			1 000	Jen - me G			原子疗格納施設 構造		重水系	その他原子がの 附属施設 原子が補機冷却系 [

				補正前										補正後						備考	
	_	変 並 √ ← − − − − − − − − − − − − − − − − − −								: 予告 (が画]		
學	無の	深熱機能存出後、 原子存権機治対 永教交換器パイパ メプインを計画す る。	I	ı	1 1	I			章 芸	除熟機能停止後,原子炉補機給却。	オボメを開る。カインを割る。			l							
維持管理後の解	体着手可能時期	原子炉本体解体撤去期間	原子罗本体解体被去期間	原子枦本体解体撒去期間	原子炉本体解体撤去期間	原子炉本体解体撤去期間			維特管理後の	原子炉本体解体	横	原子炉本体解件撤去期間		原子炉本体解件撤去期間		原子炉本体解体 撤去期間	原子炉本体解件撤去期間				
雑誌・本文・中語	国策ない。	原子が補機や対象の設備に との代替や対影側の供用開 始まで、インリンぶ解体版去 重水系・ヘンリンぶ解体版法 生体達へ、体解体酸去工事 発工まで、	原子が建屋の汚染の除去工 事着手まで	原子を補助建屋の汚染の除 [去工事者手前まで	原子存補助健屋の重水系・ へりひる系解体撤去工事発 丁まで	原水系・ヘリケム系解体版法 工事なりに原子が領域及り 生体進へい体解体膜法工事 発工まで			維持する場間	原子炉補機冷却系の設備ご との代替冷却設備の供用開 始まで	重水系・ヘリウム系解体撤去 工事並びに原子炉領域及び 生体遮へい体解体撤去工事 完了まで	原子が建盟の汚染の除去工 事 <u>着手前</u> まで		原子が補助建盟の汚染の除 去工事着手前まで		. 原子炉補助建屋の重水系・ ヘリウム系解体撤去工事完 了まで	面水系・ハリケム系解体搬去 工事並びに原子が領域及び 生体部・小体解体搬去工事 治了まで			・誤記訂正	
(7/11)	14. HE	運転量が基準値を満足し、各部 の運転状態に関係のないこと	アテン及 U俳ダファンの運転 育 がたい状態であること		・治気ファン及び特気ファンの運転 に異常がない状態であること				并	運転量が基準値を満足し、各部	に異常のない	希女ファン及び非女ファンの運転 の解かがい、大衛であるいと			 日/ ~ ~ C 記 上が - 日/ ~ ~ C 記	たメンノ・ギダンアノダウン エキダンアノダウン 事を ショ素 元異 絶がなっ 大 籐 ららにん				・誤記訂正	
性能維持施設	機能権守ひろ法	系統の運転状態の確認により機能を維 持する ・選 が系統の運転状態の確認により機能を維 持する	2馬機・排馬機の運転状態の確認によい機能を維持する。 ************************************	機能を維持する。	外観点検により機能を維持する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	将かる	ト観点値により機能を維持する	į	機能維	系統の運転状態の確認により機能を推 持する	の 系統の運転状態の確認により機能を維 持する	送風機・排風機の運転状態の確認によ り機能を維持する	外観点検にり機能を維持する	送風機・排風機の運転状態の確認に上 り機能を維持する	外観点検により機能を維持する	送風機・排風機の運転状態における 7 負圧確認により機能を維持する 5	系統の運転状態の確認により機能を維 持する	外観点的により機能を維持する			
表 6-1	数米ら750核語	除熟機能 本 希釈放出機能 本	並気が1-1機能 対	立文文净 化碳能 基 地	放出低減機能 9 垃帐防止機能 3	放出低減機能	財 成 出 低 成 成 は に の は の に の に の に の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の	1 1 1 2 X X X X X X X X X X X X X X X X	1.土 旧が用けず 加 改 要求される機能	除熱機能	希积放出機能	空気冷化機能 拡散防止機能	放出低減機能	空気浄化機能 拡散防止機能	放出低減機能	拡散防止機能	放出低減機能	貯蔵機能 放出低減機能			
深处糖 個人 地宁特莱 即位	政備, 維持百数, 心直, 梅草寺原子炉補機冷却海水ポンプ	を整いる (位配・原外・ ・ (位配・原外・ ・ (位配・原外・ (位配・原外・ ・ (位配・ ・ (位配・ (位配・ ・ (位配・ ・ (位配・ (位配・ ・ (位配・ (位配・ (位配・ (位配・ (位配・ (位配・ (位配・ (位配	本版を表 主整な器 ・位置、原子存補即建設内 ・(種類: 速心型ペルト駆動 ・等量: 30,000m³/h 非馬線 2台 ・位置: 原子存補即建設内 ・種類: 治心型ペルト駆動 ・音数 2台 ・位置: 原子が補助建設内 ・種類: 2台 ・位置: 原子が補助建設内 ・位置: アンフィルター、高性能フィル ・種類: アンフィルター、高性能フィル ・年報: 50,000m³/h	选数、24位 24位 24位 24位 24位 24位 24位 24位 24位 24位	を終り込み で配。所子が補助建設内 で配。バンインター、所住能フィル ターと戦 ・容験:125.600m/h ・音楽:125.600m/h ・音楽:125.600m/h ・位置:原子が補助建設内	・基数・1台 ・基数・1台 ・運動:大で型遊心式 ・容量・1,100×m/h ・発量・1,100×m/h ・要数・2差 ・経数・2差 ・位置 原子浮補助権監内 ・イ度・原子デ維助権監内 ・イ度・展子・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・イル・	·基数:1基 ·位置:原子存補助建量内 ·容量:25m3		次 0-1 設備,維持台数,位置,構造等	原子戸権機冷却海水ホンプ ・基表:11台 ・位置: 量外 ・種類: 立形脅流ボンプ ・容量:1,650m ³ /h	原子戸補機冷却海水ボンブ - 基級: 11台 - 位置: 量外 - 種類: 立形発流ボンブ - 容量: 1,650m ³ /h	海原機・(中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中国・中	7.4.クタコニント ・基数:1基 ・位置:原子存補助建豊内 ・種類:アンフィンター, 高性能フィル ター内蔵 ・祭告:60.00m3/h	送職機 ・	アイルタエニット ・ 基業: 2基 ・ 位置: 原子が補助建量内 ・ 種類: アレフィルター, 高性能フィル ター内蔵 ・ 空電: 128. 600m */ h	・ ・ ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	、基款、1台 、企业。原子存着的建岛内 、企业。原子存着的建岛内 、企业,1100m。/h 、企业,2000年,200	· 容量:2.2m ³ 収集タンカ ・基数:1基 ・位置:原子存補助建量内 · 容量:2.5m ³		・誤記訂正・記載の適正化	
花	る枠	ı	ı	ı		常用ガス処理系)名称			I		ı			非常用ガス処理系				
(語 孝) 即行位	改開(建度)	原子が種機冷却療水ボンプ	所子存建屋換気系		原子炉補助建屋換気系	₩.			影備(建屋	原子炉補機冷却系海水	٢. ١	原子好难屋换気系				原子炉補助系統換気系				・誤記訂正	
が帰避の区か	政権寺の区ガ	海大系		添久仍確					設備等の区分	内 子	715 V V V V			游 久昭 衛							
公 乙烷-與	加权区分	- FAN		その他原子者の 発属権設 を発展権 を					施設区分					その他原子符の解論設・解嘱施設・							

					補正前									補正後				備考
計 報	施	I		1	1		I			童	1		I	I		ı		
無後の	雑け音単板が併 体着手可能時期	原子炉本体解体 撤去期間		原子炉本体解体撤去期間	原子炉本体解体 搬去期間		原子炉本体解体 被去期間			維持管理後の解 体着手可能時期	原子炉本体解体 撤去期間		原子炉本体解体撤去期間	原子炉本体解体 撤去期間		原子疗本体解体煮去期間		
11 H 7	維持すべき期間	原子が補助建設内にかる筋 発物処理医の汚臭の除去工 事者手前まで		すっての管理医療解除売了 原来で	房子存補助推圖內(こかる洗 灌塞、分析底,非器连等の 保标並の除法工事者 手相まで		ターピン権国の将集の除去 勝 工事着手削まで			維持すべき期間	原子が補助建屋内にある略 郷物処理室の汚染の除去工 事者手前まで		サンスでの管理区域解除売了 馬 並で	原子が補助権国内にある部 福電、分析電、非器運輸の 保地強の汚染の除ま工事者 手前まで		ゲービン権履の汚染の除去 工事着手前まで		
(8/11)	体能		治気ファン、排気ファン及びプロ 等の運転に異常がない状態であ 515			常なレンン及び芸術レンンの語言。 「実をがなった癒っめること				朝		給気ファン及び排気ファンの運転 C異常がない状態であること				治なレンクの主義のアンクの連続になった。決勝のからに		・誤記訂正
	機能維持の方法	送馬橋・井島橋の運転状態の確認に下り機能を維持する	外観点検により機能を維持する	所環送風機・結場室非風機の運転状 能の確認により機能を維持する	送風機・排風機の運転状態の確認に り機能を維料する	外観点的により機能を維持する。	送風機・作風機・補助がイラ高用排風 機の運転状態の確認により機能を維持 する	外観点検により機能を維持する	性能維持施設 (8/11)	機能維持の方法	送風像・排風機の運転状態の確認にた り機能を維持する	外観点検により機能を維持する	循環送風機・結湯金排風機の運転状態の確認により機能を維持する	送馬線・排馬機の運転状態の確認により機能を維持する	外観点検により機能を維持する	が風機・排風機・補助ボイ汚塩用排風 機の運転状態の細部により機能を維持 する	外観点検により機能を維持する	
## 6-1	要求される機能	空気浄化機能 対散防止機能	放出低減機能	空気浄化機能	空気浄化機能 拡散防止機能	放出低減機能	拉索洛化機能 拉索防止機能	放出低減機能		要求される機能	空気净化機能 拡散防止機能 1	が出低減機能	空気浄化機能	空気浄化機能 拡散防止機能	放出低減機能	空気冷化機能 拡散防止機能	が 出低減機能	
AND THE STATE OF T	設備,維持台数,位置,構造等 类風機		4.4.0.9.4.1.ット ・基数:3.基 ・位置:原子炉補助建屋内 ・衛艦:アレフィンシー, 高柱能ンイン ラー内線 アートが :45,000m ³ /h	・基準などの ・基準などの ・位置・原子が維助建量内 ・位置・原子が維助 ・等能・53.10m/ハト ・2数に15.10m/ハト ・2数が146 ・2が146		- 本人 - 本人 - 本人 - 大阪 - 大 - 大阪 - 大 - 大 - 大 - 大 - 大 - 大 - 大 - 大	- 参展 ::20,700m/h - 基数:24 - 基数:24 - 位置:第子字報助建盟内 - 衛雄:第-29電動機能算型 - 等置:156,100m/h - 海板:1右 - 佐麗:オービン推盟内 - 佐麗:カービン推盟内 - 佐麗:2,000m/h - 徐麗:2,000m/h	フィルグユニット - 本数に記 - 化酸: ターピン体程度: - 種類: ラフフィルダ内臓 - 容量: 156,100m3/h	表 6-1	設備,維持台数,位置,構造等 英風機 # ** * * * * * * * * * * * * * * * * *		フィルタコニット ・基数:2基 ・位置:原子が補助建屋内 ・価類:フレフィルター、高性能フィル ター内蔵 ・容量:46,000m ³ /h	等数 2.2 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元		- 本数:1基 - 基数:1基 - 位置:原子が補助建屋内 - (位置:原子が補助建屋内 - (種類:アンスルター, 高性能フィル ター内蔵 - 今一内蔵	送展報2台 - 近暦: 20 - 12 - 7 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	・発売84.40m/h イルタユニット - 数数1.8 - 位置:タービン建量内 ・種類:ラフィルタ内蔵 ・香類:156,100m ³ /h	・誤記訂正
3	幸	1		Viet		3	1			林							100	・記載の適正化
4) (mm 44) 487/100	設備(建屋)名	落棄物処理系結換気系		中央制御監機気系	异物盐 療 気系		ゲービン権国権気系			設備 (建屋) 名	缩棄物処理系結換気系		中央制御室機気系	保物監接気系		ケービン権服務対派		
A ACC ON PARTY OF THE PARTY OF	設備等の区分	_				<u>.</u>				設備等の区分		,		- 欠股債				
V COLUMN TO THE	施設区分				その他原子がの接属施設					施設区分				その色原子符の 発属階設 数				
								_										

		補正	前						補正	後				備考
備考	ı	ı	ı	1 1	ı		金米	I	ı	ı	I	I	1	
維持管理後の解体着手可能時期	原子炉本体解体被去期間	原子疗本体解体 撤去期間	原子行本体解体撤去期間	所子炉周辺設備 解体撤去期間 原子炉本体解体 概去期間	原子炉本体解体 撤去期間		維持管理後の解 体着手可能時期	原子哲本体解体撤去期間	原子迈本体解体 撤去期間	原子炉本体解体 搬去期間	原子炉周辺設備解体撤去期間	原子炉本体解体撤去期間	原子乒本体解体撤去期間	
維持すべき期間	燃料が確プール建築の汚染 の原共工事者手削まで	東東 地 を 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	雑國 体廃棄物焼却設備の維 特完丁まで	所内電源が7TkVへの受電系 続に均替完丁まで 全量量及び構築物解体工事 着キまで	予備電源装置の供用開始ま		・八き期間	然料叮鹋ズール準屋の汚染 の除去工事着手前まで	廃棄物処理権履の汚染の除 去工事者手前まで	雑団体廃棄物焼却設備の維 特売了まで	所内電源がTRVへの受電系 統に切替完了まで	各建屋及び構築物解体工事 着手まで	予備電源装置の供用開始ま	
近記 (9/11) 性能	・音気ワン及び神気ファンの連続 に原常がない外際であること	・治效ファン及び非效ソテンの連続に発発がアンクの連続に関係がない。 水糖の めんじ		・住宅維料施設に電源を供給でき る状態であること	・中部回動操作により、ディーセン 発電機が関われていた。 ディーカン発揮機関係、ディー カン発揮機関係、ディー カン発揮機関係、ディー カン発揮機関係、ディー カン発電機関節が投入されるこ ディーカン発幅機関連が投入されるこ ディーカン発幅機関連が投入されるこ		無	・治気レンスの書数ソンソの過程には異なったとの過程に関係がなった機のめって	*** (おびケン及び事気ファンの運転 に異常がない 状態であること		To be Very Hill & DESQUE A TO LEGISLATE THE HIS SHEP HIS	A状態であること A状態であること	・手御店動機作により、アイーカウ 電機物が開かすること ・ディーセン発電機配節後、ディー セン発電機遮断路が投入されるこ ・ディーセン発電機が再路が投入されるこ ・ディーセン発電機が再路が投入されるこ ・ディーセン発電機の選棒状態に ・ディーセン発電機の選棒状態に 原体がなく、必な活機に対し電 原金件格できること。	
6-1 性能維持施設	馬機・排風機の運転状態の確認によ 機能を維持する 機能を維持する 機能を推持する 機能を維持する	送風機・呼騰全排風機・焼却全排風機 の運転状態の確認により機能を維持する る	外観点後により機能を維持する 非管理区城空開機,非管理区域排風 機の運転状態の確認により機能を維持 する	電状機の確認により機能を維持するに電状態の確認により機能を維持する	手動にてディーゼル起動後、配部を併 浴できることの確認により機能を維持 する	性能維持施設 (9/11)	機能維持の方法 発馬機・排風機の運転状態の確認によ 機能を維持する	外観点後により機能を維持する	送風機・貯藏流停風機・体却高停風機 の運転状態の確認により機能を維やす る	外観点後により機能を維持する 特別に成立関係,非管理区域は開展 機の運転状態の確認により機能を維度 する	・電状態の確認により機能を維持する	5電状態の確認により機能を維持する	年勤にてディーゼル起動後、職務を供 格できることの確認により機能を維持 する	
表	公公公司 在 (2) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	文文文/中化機能 0 2文文/中化機能 0	が出低減機能 を受気等化機能 を を を を を を を を を を を を を	電源 供給機能	電源供給機能		要求される機能 空気冷化機能 拡散防止機能	女出低減機能	公気沙化機能 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 服 。 以	次出伍減機能 タ ク と り り り り り り り り り り り り り り り り り り	電源供給機能	電源供給機能	写原供给機能	
設備,維持台数,位置,構造等	E. Park	- 李慶 - 44,000m/小 - 台数 2-6 - 台数 2-6 - 台数 2-6 - 位置 源集物の理準置内 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・場次・23年 ・(電池・水本科学) - ・ ・(電池・水本科学) - ・ ・(電池・水本科学) - ・ ・(電池・水本科学) - ・ ・(電池・大・ ・ 一方数・1 ・ 一方数 1 ・ 一方 一方 一方 一方	開資内保験 ・(広暦・返転 ・(広暦・返転 ・(広暦・返転 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外 ・(広暦・原外	(佐龍·周水 - 好報-1,000NA - 子子-1-2,200NA - 1数1.18 - 12 - 12 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	表 6-1	造等力	・ (万種 (送機構 一種或24 一位 原 編集物包里建盟內 一位 原 源集物包里建盟內 等 量 57 1 200 m / n 下	スパルタュニット ・基準、2 第二 ・ (電: 廃棄物の里建造内 ・ (電: 所要がの里達造内 ・ (電: アンフィルター, 所生能フィル ・ 会集: 38.660m ³ /h 宇管理区域空間機(循環ファン) ・ 台楽: 16.660m ³ /h 非管理区域空間機(循環ファン) ・ 台湾・ は一部では単独内 ・ 音楽: 16.60m ³ /h	· (位置: 條章物包理準度內 用預內存錄 中級條款: 2 · (位置: 屬外 · (位置: 屬外 · (位置: 屬外	開開所 中央總数: (位置: 原外 一位置: 医外 一位 (位置: 医外 一位 (位置: 医外	・音楽に JOON A A A A A A A A A A A A A A A A A A	・誤記訂正・記載の適正化
)名称	I	I	1	275kV 77kV	1		名称	ı	1	ı	75kV	7kV	1	
函報(建	然本的破プート建屋接気が	務棄物处理建	廃棄物处理 基 数 系系		アイーガン発電機		路側(様形) 脚路	然科庁職プール建国機気系	院棄物処里離臨設備高 被気系	廃棄物処理雄區削御室 換気系	C4	沙 爾系統	ディーゼル発電機	
設備等の区分		激 気設備		非效用雜類影響			設備等の区分		(株) 文化(根)			非常用電源設備		
施設区分			その他原子与の 解脂酸				施設区分			その地原子がの財魔施設				

								補	正前	ή												衤	補正征	发				備考
	**************************************			作为OM 数去着手 被自動	upx 編で 単止する。 ア内の施 骸去着手	当該水消の供用を停		I			信用済務本養出 紀元年代は、マス との政幹・研集 もな素気校出ブー にに解析・ないに	祭年寮田 発・アペン インペン 経本日の 大祭本門の (1保管 ナル)			描述	1		ア内の施 依去着手 当該自動 切設備の	7内の施 核去着手 当該水消 0供用を停		ı			浴療科療出 完合法, 少人 完合法, 少人 然後有性職業 務項於出分一 保管十名計画 名。	然本義田 (本本) アイン (本) アイン (本) アイン (本) 大学 (本) 大 (本) 大 (*) 大 (*			
	後の解告時期	解体	- -	対象エリア内のJ 設解体撤去着手 時には、当該自	大 (((((((((((((時には, 大設備の 解体 止する。				解体	使用済券 作 1 まん 発体 ル1の放 物を素々 トCの保管	使用済機和機は 治丁以降,レベ、 場体 10放射性機制 を使用済機利的 ブールに保管す	解(本		後の解 皆時期 備	解体	E	対象エリア内の加設解体機去着手設解体機去着手時には、当該自身大災報知設備の仕用を追っまる	対象エリ 設解存制 時には、 大設備の	解体 止する。			解体	使用済券 完了まで 2010版 2010版 かを蒸タ ルに保管 である。	使用済燃料機出 完丁以降、レベ 所以 10分数射性整理 を使用済燃料的 ブールに保管す 計画である。	解体		
	維持管理(休寿年回信		事	掛	1	原子炉本体	至	#4	*	手 原子炉本体 撤去期間	放 原子炉本体 撤去期間	游 原子炉本体 出 搬去期間	の 原子炉本体 撤去期間		維持管理(の 原子炉本体 撤去期間	事建屋解体期	掛	掛	原 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	#4	*	手 原子炉本体 撤去期間	效 原子炉本体 : 撤去期間	遊 班 頭子哲本本 養土類国	の 原子炉本体撤去期間		
	維持すべき期間	各建屋及び構築物の汚染 除去工事完了まで	各建屋及び構築物解体工	各雄屋及び構築物解体工 着手まで	十十月 4年 7月 4月 4月 4月 4月 4日	台建国及C特殊物群体上着手法で	軽油タンクの供用が終了す まで	当該設備の消火対象物撤 完了まで	各建屋及び構築物解体工 着手まで	換気設備解体撤去工事着 まで	放射性固体廃棄物の蒸気放出アールからの搬出完了ま で	放射性固体廃棄物の使用済 燃料時蔵プールからの製出 発了まで	各建屋及び構築物の汚染 除去工事完了まで		維持すべき期間	各建屋及び構築物の汚染 除去工事完了まで	各建屋及び構築物解体工 着手まで	各建屋及び構築物解体工 着手まで	各建屋及び構築物解体工 着手まで	軽油タンクの供用が終了すまで	当該設備の消火対象物撤 完了まで	各建屋及び構築物解体工: 着手まで	換気設備解体撤去工事着 まで	放射性固体廃棄物の蒸気放 出プールからの搬出売了ま で	放射性固体廃棄物の使用・ 燃料所蔵プールからの製出 完了まで	各種屋及び構築物の汚染 除去工事完了まで		
元 (10/11)	布器	・交流電源喪失時、蓄電池側に正常に切り替わること	商業電源が喪失した場合に非常 用照明が点灯できる状態であるこ	AJ.		アンストンストンプライン	・平朔の消火を付えること			・設備の運転に異常がない状態で あること	・放射性廃棄物が涌えいい難い構造であること	・放射性廃棄的が領えいし難い情 遊であること	・装置の運転状態に異常のないに ・停止機能, ブレーキが正常に動作すること		性 能	・交流電源喪失時, 警電池側に正常に切り替わること	・商業電源が喪失した場合に非常 用照明が点灯できる状態であるこ と			・早期の消火を行えること			・設備の運転こ異常がない状態であること	精・4難へ4悪がが漏えい4難が 造であること かながま	・放砂性筋薬物が測えいし難い構 造であること	・装置の運転状態に異常のないこと ・停止機能、プレーキが正常に動 作すること		
1 性能維持施設	機能維持の方法	通常時、停電時の充電状態の確認に より機能を維持する	角常状態の確認により機能を維持する	消防法に基づく点検により機能を維持する	And also developed and selections of the selecti	用のなに基づく景像により機能を維持する する	哨防法に基づく点検により機能を維持 する	消防法に基づく点検により機能を維持 する	系統の運転状態の確認により機能を維 等する	系統の運転状態の確認により機能を維 持する	外観点後により機能を維持する。	外観点後により機能を維持する。	労働安全衛生法に基づく点検により機能を維持する	手施設 (10/11)	機能維持の方法	通常時, 停電時の充電状態の確認に より機能を維持する	通常状態の確認により機能を維持する	消防法に基づく点検により機能を維持 する	消防法に基づく点検により機能を維持 する	当防法に基づく点検により機能を維持 Fる	消防法に基づく点検により機能を維持 する	背防法に基づく点検により機能を維持 「る	系統の運転状態の確認により機能を維 持する	ト観点検により機能を維持する	・観点時により機能を維持する	労働安全衛生法に基づく点検により機 能を維持する	・誤記言	丁正及び記載の適正化
表 6-1	要求される機能	電源供給機能	照明機能	報知機能		消火機能	消火機能	消火機能	初期消火機能	圧縮空気の供給機能	語をうる機能	響響くる観	吊上げ・運搬機能	性能維持施設	要求される機能	電源供給機能	照明機能	報知機能	消火機能	消火機能	消火機能	初期消火機能	圧縮空気の供給機 能	遮へい機能	調響をごく関	吊上げ・運搬機能		
	設備,維持台数,位置,構造等	器電池 一式 ・基数:2基 ・位置:原子炉補助建屋内 ・種類:グランド式ニボナイト権密封形	3	·位置: 建度全版 自動人災報知設備 ·基数:	. 正言. 年曆主歌 水消火設備	·基数:一式 ·位置:建屋全域	泡消火設備 - 基数: 一式 - 位置: 建屋全城	不活性ガス消水設備 (炭酸ガス消水設備) ・基数・一式 - 大略・華 中 今本	可被 <u>心间</u> 难磨主顺 可被死一对 整数一次 位置 建屋全域	空気圧縮機・ ・基数:一式 ・位置:ターピン建屋内	・ - 本蔵:11.3m/mm - 紫気放出ブール - 地数: - 式 - 佐蘭: 原子が建居内	使用効素を呼吸ントル ・ ・ で同・ ・ を ・ を ・ に を ・ に ・ を ・ ・ に ・ ・ に ・ ・ に ・ に	グアーン設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表 6-1	設備,維持台数,位置,構造等 ※審決,二非	- 18 表記 - 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	非常用限明 · 基数:一式 · 位置: 建量全域	自動火災報知設備 ·基数:一式 ·位置:建居全域	水消火設備 ·基数:一式 ·位置:建居全城	泡消火設備 ·基数:一式 ·位置:豬屋全城	不活性ガス消火設備 (炭酸ガス消火設備) ・基数:一式 ・位層:殊局全域	可搬式消火器 • 基数:一式 • 位置:建屋全域	空気圧縮緩 ・基数・一式 ・位置: ターピン雑題内 ・容量: 11.5m³/min	素気が出アール ・基数: - ボ ・位置: 原子炉建屋内	後田済巻本庁(東ノーン・ ・ 海教: 一式 ・ (石麗: 統本庁(東ノーン・ ・ (石麗: 統本庁(東ノーン・ ・) ・ (石麗・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	クレーン設備 ・ 基数: 一式		
	(3) 名称	1	1			I	I			I	1	1	I)名称	听内用	1			I			ı	I	1	1	• 誤記言	丁正
	野僧 (建屋	李雪老	非常用照明設備			観光電子派	用水配圖			圧縮空気系設備	蒸気放出プール	使用済然料的酸プール	グアーン設権		設備(建屋	吳鱧和	非常用照明設備			消水設備			圧縮空気系設備	蒸気放出プール	使用済燃料貯蔵ブール	クレーン設備		
	設備等の区分	非常用電源設備	ı			學品古出典組織教	究电阴相切胜改幅			発電所補助系設備		面 存廃棄物の保管設備	I		設備等の区分	非常用電源設備	ı			発電所補助系設備				田休藤華物の保管部		1	• 記載 <i>0</i>	の適正化及び誤記訂正
	施設区分								その他原子炉の 附属 施設	•					施設区分	その他原子炉の府馬脳影							主要な施設					

						補	訂正前	
	無為	使用済イオン交換 樹脂等の前処理と して導入する。	竹能レベルの比 均低・不燃性の 片廃棄物の磨 ド廃棄物の磨 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等人が 数対能レベルの比 数的部、不然性の 固体硫薬物の施 薬体化処理及び 機出のため導入す	(4)(5)(6)(7)(7)(8)(9)(9)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10	A Long Park And La	原子が関連解体 のため導入する。	1
	は特管理後の解 、着手可能時期	原子炉本体解体 樹脂 撤去期間 して	放射 原子炉本体解体 較的 撤去期間 乗権	放射 放射 原子炉本体解体 固体 撤去期間 棄件	9。 使用 原子炉本体解体 樹脂 搬去期間 きる	4/44/4		建屋解体期間
	維持すべき期間体	- 象務棄物の処理完了まで - 撤	・象廃棄物の処理完了まで 療	・象廃棄物の処理完了まで 原	・ 象廃棄物の処理完了まで ト 機		近十分関東及の年存品へい 現存 体解体散去工事完丁まで 横横 大野 大学	各建屋及び構築物解体工事 着手まで
	性能	×	・放射性物質が漏えいするような有 対な情傷がない状態であること	解降害の防止に影響すな損傷がない状態であ	■ ₹	能であること	別が放射性物質が漏えいっするような有 なな場別がない状態であること 放射線障害の防止に影響するよう を有意な損傷がない状態であるこ	生能維持施設に電源を供給でき 状態であること
(11/11)	機能維持の方法	外観点検により機能を確認する	外観点検により機能を確認する。	観点検により機能を確認する	外観点検により機能を確認する	隔操作により機能を確認する・	。 製点検により機能を確認する。 な	外観点検により機能を確認するるる
性能維持施設	要求される機能	漏えい坊止機能 遮へい機能	漏えい 坊 正機能 海へい機能 遊へい機能	漏えい切止機能 遊へい機能	漏えい坊止機能 外装遮へい機能	按试く低減機能 遠間	新えい坊止機能 遮へい機能	電源供給機能 外
表 6-1 性能維	設備,維持台数、位置,構造等	理装置	レベル2用モルタル充填固化装置 済・基数:一式	レベル1用廃棄体化処理・輸送装置・基準:一式	セメント混練国化装置 ・基数:一式	2は機械		子備電源装置 -基数:一式
	置名称	I	I	1	1	1	1	1
	設備及び装	減容安定化処理装置	レベル2用モルタル充填 固化装置	アペル1用廃棄体化処 理・搬送装置	セメント混練固化装置	++ +1 (see 10.0 (s), +1-100 (s) / -2 (s)	州十分银现透畅胜体验 置	予備電源装置
	設備等の区分				I			
	施設区分				専ら廃止措置に必要な主要装置			